

消防庁による「令和 6 年度公共安全モバイルシステム実証報告」 において Buddycom の活用可能性に言及

消防力強化への貢献期待に応えるため、さらなる機能改善に励みます

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するフロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、2023 年 10 月より総務省の公共安全モバイルシステムの実現に向けた実証試験における、実証用アプリケーションに採択され、2024 年 6 月から 11 月まで消防庁および各消防本部において、日常・災害時におけるユースケースの検討等、より具体的な活用に向けた検討・実証が行われてきました。

2025 年 3 月 18 日、この実証結果をまとめた「令和 6 年度公共安全モバイルシステム実証報告」が消防庁より全国の消防本部に向けて発表され、Buddycom について、通常・災害時における情報連絡手段として、様々な活用の可能性について言及がありました。

■今回、実証活用された Buddycom 機能

主に 4 機能（音声通話、テキスト化/チャット、ライブキャスト、位置情報）

■通常業務での活用で Buddycom が評価された点

行事・イベント等の警備、消防訓練、水利点検、予防査察、火災調査など
様々な用途で情報共有手段として活用。

■災害時業務での活用で Buddycom が評価された点

火災現場、救助・救急現場、隣接する消防本部との連携において、情報共有に「聞く(音声)」+「見る(映像)」が加わることで消防力が強化。

特に能登豪雨災害での対応で、他の消防本部との連携や隊員の配備状況の把握(地図)が有効。

■消防系無線不感地帯での活用での検証結果について

消防系無線不感地帯をキャリア網で完全カバーすることはできないものの補完として活用が可能。

災害による予期せぬ不感地帯発生もカバー。

■広域応援でのアプリケーションの連携について

令和 6 年 9 月に発生した能登豪雨災害では、広範囲での活動となったが、活動隊員は現地の動向をリアルタイムで把握。同動向の把握により、必要な資機材の用意など、万全な後方支援を実施。

一方、同報告において、大規模災害時等における更なる円滑な情報連携等の要望をいただいたことから、今後サイエンスアーツでは、同要望の早期解決に向け、迅速に対応し、公共安全モバイルシステムが目指す「災害発生時等に、自機関内や、他機関とのスムーズな連絡・情報共有」の実現に貢献してまいります。

■ 関連プレスリリース

- ・2023 年 10 月 11 日「Buddycom、三菱総合研究所の総務省請負事業の一環として、公共安全 LTE 実証用アプリケーションに採択」(<https://buddycom.net/news/news-20231011/>)
- ・2024 年 2 月 29 日「能登半島地震への支援として、総務省の要請と協力に基づき Buddycom を災害対策関係機関へ無償提供」(<https://buddycom.net/news/news-20240229/>)
- ・2024 年 4 月 9 日「総務省 電波利用のページにて、モデル事例集として Buddycom が紹介されました」(<https://buddycom.net/news/news-20240409/>)
- ・2024 年 10 月 1 日「サイエンスアーツ×消防庁、Buddycom の大規模災害時における現場活動等での有用性を検討・実証、消防における導入を推進」(<https://buddycom.net/news/news-20241001/>)
- ・2024 年 10 月 8 日「令和 6 年 9 月石川県豪雨への支援として、Buddycom を 500ID、消防の現場活動組織へ提供」(<https://buddycom.net/news/news-20241008/>)

■ Buddycom とは (<https://buddycom.net/>)



フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段としての活用がされています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 4 年連続シェア No.1※を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2024 年度版」

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 4 億円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://science-arts.com/>